

ライデン国立古代博物館所蔵
古代エジプト展
EGYPT, LAND OF DISCOVERIES
FROM THE NATIONAL MUSEUM OF ANTIQUITIES IN LEIDEN, THE NETHERLANDS



(パティコンスの「死者の書」) 第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃) パピルス ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden (Leiden, the Netherlands)

2月27日(日)まで

観覧料 一般 1,800円、大学生 1,400円、高校生以下無料、70歳以上 900円

大英博物館やルーヴル美術館などと並ぶ世界屈指の古代エジプト・コレクションを誇るオランダのライデン国立古代博物館の約25,000点にのぼる所蔵品から厳選した、ミイラや副葬品を含む約250点の展示品によって構成する展覧会です。近代人を魅了した遺跡発掘から、CTスキャンを駆使し、現代科学の粋によって解明されたミイラの生前の様子など、ライデン国立古代博物館の全面的な支援のもと、古代エジプト文明の魅力を様々な視点から紹介します。

関連イベント

■学芸員による解説会 1月22日(土)、2月12日(土) 各日15:00~(約45分) レクチャールーム、定員40名、聴講無料、当日先着順

スーラージュと森田子龍

3月12日(土)~5月8日(日)

【ギャラリー棟3階】にて

観覧料 一般 1,400(1,200)円、大学生 1,000(800)円、高校生以下無料、70歳以上 700円 ※()内は前売料金

フランスのアヴェロン県と兵庫県との20年をこえる交流を記念し、画家のピエール・スーラージュ(1919-アヴェロン県出身)と、書家の森田子龍(1912-1998/兵庫県出身)の展覧会を開催します。



森田(左)とスーラージュ(中央) 1963年パリにて

スーラージュと森田子龍は、森田が編集する雑誌『墨美』を通じ、つながりを持つようになりました。1958年に日本で対面を果たし、1963年にはパリで再会しています。スーラージュと森田子龍という二人の作品を通して、西洋と東洋の芸術家の出会いを考えます。

「スーラージュと森田子龍」&「ミニマル/コンセプチュアル」セット券 一般 2,600(2,400)円、大学生 1,800(1,600)円 ※()内は前売料金

料金及び販売期間詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

Minimal
ミニマル/コンセプチュアル
Conceptual

ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術
Dorothee and Konrad Fischer and the Art Scenes in the 1960s and 1970s

3月26日(土)~5月29日(日)

観覧料 一般 1,600(1,400)円、大学生 1,200(1,000)円、高校生以下無料、70歳以上 800円 ※()内は前売料金

ミニマル・アートは、作家の手仕事やその痕跡といった表現性を廃し、単純で幾何学的な形やその反復から成る作品を制作する美術の潮流です。続いて現れたコンセプチュアル・アートは、物質的な制作物以上に、その元となるコンセプトやアイデアを重視します。これらの美術が展開した1960-70年代当時、まだ発表機会の少なかったこの2つの動向の実験的な作品を紹介する場としてギャラリーを開いたドロテ&コンラート・フィッシャーの旧蔵作品を中心に、この時代の美術を振り返ります。



ドロテ・フィッシャーとコンラート・フィッシャー 1969年
Photo: Gerhard Richter

関連イベント

■講演会 講師：林 寿美氏(インディペンデント・キュレーター)
4月9日(土)14:00~(約90分) ミュージアムホール
定員110名、聴講無料、当日先着順、要観覧券

2022年
コレクション展 I

た・び・て・ん



読者(人)読者の(人) 4000年

自由に外に出ていく時間が少ない日々が続きました。そこで、美術館で「旅」の気分を味わってはどうかと考えました。旅が日常を離れて、今いるここからどこかへおもむくことであるならば、旅の空間と時間は、美術館の空間とそこで過ごす時間に似ています。美術館で出会う作品は、わたしたちを遠くへ連れ去るばかりか、ときに身近な何か、知らずに過ぎたあれこれを思い起こさせます。もちろん、描かれた旅の風景や人々を見て(行ったことがあってもなくても)、旅情をかきたてられるということもあります。美術館で、旅。美術館の、旅。いかがでしょうか?ご高覧をお願いいたします。

関連イベント

■学芸員による解説会 2月5日(土)、3月5日(土) 各日15:00~(約45分) レクチャールーム、定員40名、聴講無料、当日先着順

1月22日(土)~7月3日(日) ※4月11日(月)~4月22日(金)まで休室

観覧料 一般 500円、大学生 400円、高校生以下無料、70歳以上 250円、障がいのある方(一般 100円、大学生 100円)

《小企画》

生誕100年 元永定正展

当館の所蔵作家である元永定正(1922年-2011年)は、具体美術協会を代表する作家のひとりとして世界的に知られています。鮮やかな色彩とユーモラスな形態による作品は、こどもから大人まで幅広い人気を誇ります。生誕100年の節目となる今年、伊賀から神戸、ニューヨークへ渡るまでの時期に焦点を絞り、これまで紹介される機会の少なかった作品も交えて、その表現を振り返ります。



元永定正(寛がある) 1954年頃 個人蔵 (三重県立美術館寄託)

美術館の調べ

■中谷彩花ピアノリサイタル
1月15日(土)14:00~ アトリエにて
(定員60名、無料、当日13:15から来場者カード、整理券配布)
曲目：ショパン「ノクターン第2番」/ラフマニノフ「前奏曲「鐘」Op.3-2」ほか



ピアノ 中谷彩花

■米井遥香・藤井夢音ジョイントリサイタル
2月5日(土)14:00~ アトリエにて
(定員60名、無料、当日13:15から来場者カード、整理券配布)
曲目：リスト「愛の夢」/サラサーテ「カルメン幻想曲」ほか



ヴァイオリン 米井遥香



ピアノ 藤井夢音

■波田野瑞歩コントラバスリサイタル
1月22日(土)14:00~ アトリエにて
(定員60名、無料、当日13:15から来場者カード、整理券配布)
曲目：サンサーンス「動物の謝肉祭より象」/ポッテシーニ「夢」ほか



コントラバス 波田野瑞歩



ピアノ 松本七咲

落語の会

■県美亭ワンコイン寄席
1月21日(金)14:00~ ミュージアムホールにて
500円(定員80名、当館Webサイトから予約受付)
演目：「茶の湯」露の吉次「子は謎(かすがい)」桂花團治



露の吉次



桂花團治

県美シネマクラシック

1月29日(土)
■「愛の調べ(1947年)」
①10:30 ②14:00
シューマン夫妻とブラームスの愛と友情の物語を「謝肉祭」や「トロイメライ」などの名曲とともに描いた作品。ピアノ演奏の吹き替えは20世紀を代表するピアニストの1人、アルトゥール・ルービンシュタインが担当している。



「愛の調べ」の一場面

監督：クラレンス・ブラウン
出演：キャサリン・ヘプバーン、ポール・ヘンリッドほか
ピアノ演奏：アルトゥール・ルービンシュタイン
料金：800円、「芸術の館友の会」会員 500円
ミュージアムホールにて
(当日受付時にお名前などの記入をお願いします)

各主催者によるイベント

1月
■第37回明石高校美術科展
1月8日(土)~1月10日(月・祝)
10:00~18:00(最終日は15:00まで 入場は閉館の30分前まで)
ギャラリー棟3階 入場料：無料
主催：兵庫県立明石高等学校
お問合せ：078-911-4376

■新・童美展 2021-22
1月14日(金)~1月16日(日)
10:00~18:00(最終日は15:00まで)
ギャラリー棟3階 入場料：無料
主催：保育造形の会
お問合せ：保育造形の会事務局
(五字ヶ丘幼稚園内 079-292-6059)

■第17回みんなのアート展
1月19日(水)~1月22日(土)
10:00~17:00(最終日は14:30まで)
ギャラリー棟3階 入場料：無料
主催：兵庫県教育委員会
お問合せ：078-362-3774

2月
■第10回未来のまち夢のわが家こども絵画コンテスト作品展示 及びなごさ小学校6年生の作品展示「伝えよう HAT神戸の“ステキ”」
2月2日(水)~2月6日(日)
10:00~18:00
ギャラリー棟3階 入場料：無料
主催：神鋼不動産株式会社
お問合せ：078-261-2121

■神戸芸術工科大学卒展 カオス2022
2月11日(金)~2月13日(日)
10:00~17:30
ギャラリー棟3階、ミュージアムホールほか
入場料：無料
主催：神戸芸術工科大学
お問合せ：078-794-5025

■第17回兵庫県障害者芸術・文化祭
2月18日(金)~2月20日(日)
10:00~17:30(最終日は14:00まで)
ギャラリー棟3階 入場料：無料
主催：第17回兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会
(兵庫県ユニバーサル推進課内)
お問合せ：078-362-4090

■専門学校アートカレッジ神戸卒業進級制作展
2月25日(金)~2月27日(日)
10:00~18:00(最終日は15:00まで)
ギャラリー棟3階 入場料：無料
主催：学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸
お問合せ：078-857-3005

CHANNEL
HPMA Spotlight Artist Showcase 注目作家紹介プログラム チャンネル12

飯川雄大 デコレータークラブ メイクスペース、ユーズスペース
DECORATOR CRAB: Make Space, Use Space

2月26日(土)~3月27日(日)

【ギャラリー棟1階 アトリエ1、館内各所】にて 観覧料無料

現在活躍している作家を紹介するシリーズの第12回として、兵庫県出身・在住の飯川雄大(1981-)の展覧会を開催します。人の認識の不確かさや、社会の中で見逃されがちな事象に注目し、鑑賞者の気づきや能動的な反応を誘発する「デコレータークラブ」の最新作を発表します。アトリエ1を中心として、美術館を舞台とした作品をご鑑賞下さい。

関連イベント

詳細は当館Webサイトにてお知らせします。



つくりかけラボ04 飯川雄大 デコレータークラブ
0人もしくは1人以上の観客に向けて 千葉市美術館 撮影：阪中隆文